

- 物件名：和光荘
- 住所：潮見台2-4-1
- 電話：23-1727
- 所有者：株式会社秀映社
- 運営者：野口禮二（代表取締役）
- 人員：6人

#### ■建物履歴

- 大正11年 二代野口喜一郎自邸として自ら基本設計  
佐立忠雄（旧日本郵船小樽支店設計の佐立七次郎のご子息）設計
- 昭和25年 北海道ホテル（野口喜一郎代表）所有  
別館の旅館あるいは北の誉のクラブとして運営
- 昭和34年 北の誉酒造（三代野口誠一郎代表）所有
- 平成15年 小樽市都市景観賞
- 平成21年 秀映社所有
- 平成27年 一般公開（ホームページより）



外観

#### ■外観

初代野口吉次郎が創建した北の誉酒造工場を一望できる高台に立地。敷地面積約5000坪、延べ面積約500坪。2階を主玄関とし全面にバルコニー。白い柱と手摺り格子がアクセント。昭和29年以前に和室と風呂を改築、トイレを増設。平成初期には鉄骨梁補強。平成22年外部白ペンキ補修と屋根補強。

#### ■内観

- ①廊下と仏間／仏間へ通じる廊下は、廊下の形状、窓枠、棧、階段が全て斜めに設計。仏間の材質は台湾桧木使用の宮大工。
- ②大食堂／壁、梁に流し型で作った漆喰装飾は三角形や六角形等のアール・デコの幾何学形態で構成。腰壁には木造の鎖のような銀色の装飾が付き、これもアールデコの金属装飾。
- ③階段室／母屋にあり1階から2階までつないでいる。頂部に半球を付けた親柱は、側面等に四角い凹凸がつけられ、幾何学的な装飾。手摺側壁板には菱形象嵌が施され幾何学模様。
- ④応接室／部屋の4面に配された扉には雷文の象嵌。壁はミズナラ材の額縁飾りが付き、その中に植物模様の布壁を使用。窓は上げ下げ窓でその内側上部には、カーテンボックスがついて下部窓は一枚だが、上部窓は縦棧と交差棧とで分割され、上下でデザインが異なる。天井は井桁の格縁（ごうぶち）天井とし、格間（ごうま）を流し型で作った装飾漆喰。小樽出身の画家、平沢貞通（ひらさわさだみち）氏の「赤松と海」の絵画。昭和天皇・皇后両陛下が座られた椅子は、背もたれに象嵌模様。
- ⑤玄関ホール／衝立（ついたて）は中国製で1700年代のもの。電話室の電話機は、大正時代のものではないが昔、こういうものを使用。当時の暖房はスチーム暖房で館内を暖め、年間石炭を50～60トン焚いていた。
- ⑥和室 梅・竹／梅の部屋は初代野口吉次郎が居間として使用。竹の部屋は来客用として使用。
- ⑦和室・松／昭和29年8月昭和天皇皇后両陛下宿泊の際の寝室として使用。8畳2間の続き間で、主座敷には床の間が付き、部屋の周囲には縁側。明り欄間は「筏かすみ」の組子障子が施されており、間越欄間には山水の透かし彫り。
- ⑧サンルーム／アールデコの影響を受けた欄間の幾何学模様のスタンドグラス。中央の噴水。爽やかなオレンジ色のタイルに縁どられ、水の出る部分は3人のエンジェルに支えられている。床、巾木には白、黄、えんじ、灰色のモザイクタイル。当時、庭園の樹木はそう高くなく、周囲が見渡せてをり、来客のおもてなしの場としても使用。
- ⑨洋室・睡蓮／眼下には海と北の誉酒造の工場群が一望。窓は3面に開けられ、上げ下げ式で連窓と単層がある。腰壁の額縁も重厚で窓にはいずれにも窓先柵。天井の照明器具に丸い漆喰飾りのデザイン。
- ⑩大広間・旭・北斗／当時、宴会、研修などに使用していた部屋。窓には結晶模様のガラス。襖は普通のものよりも幅が広く、北海道ではほとんど、見られない貴重なもの。襖の引手には二羽の鳳凰が向かい合ったものが付けられている。第20代内閣総理大臣高橋是清の『報本反始』（ほうほんはんし）の書がかけられている（根本に立ち返ってその恩を改めて肝に銘ずること）。二室の間の透かし欄間には、5羽～7羽の鶴の舞いが施されている。

<案内役前田隆夫氏提供>

#### ■内容

昭和29年昭和天皇ご宿泊、昭和33年皇太子（平成天皇）ご宿泊の名誉ある建物。

#### ■コンセプト

野口家四代目野口禮二氏は先祖の築いた格式、苦勞、誇りを一身に背負い、可能な限り大切に守っている。

#### ■客層

主に札幌圏の興味ある方々が見学に来ている。



# 和光荘



全面バルコニー



仏間への廊下



応接室 部屋の4面に配された扉には雷文の象嵌



大食堂 漆喰装飾は三角形や六角形等のアール・デコ



昭和天皇皇后両陛下宿泊の際の寝室として使用



梅の部屋は初代野口吉次郎が居間として使用



洋室 上げ下げ式で連窓と単層窓



噴水を配した円形のサンルーム



# 和光荘



大広間 窓には結晶模様



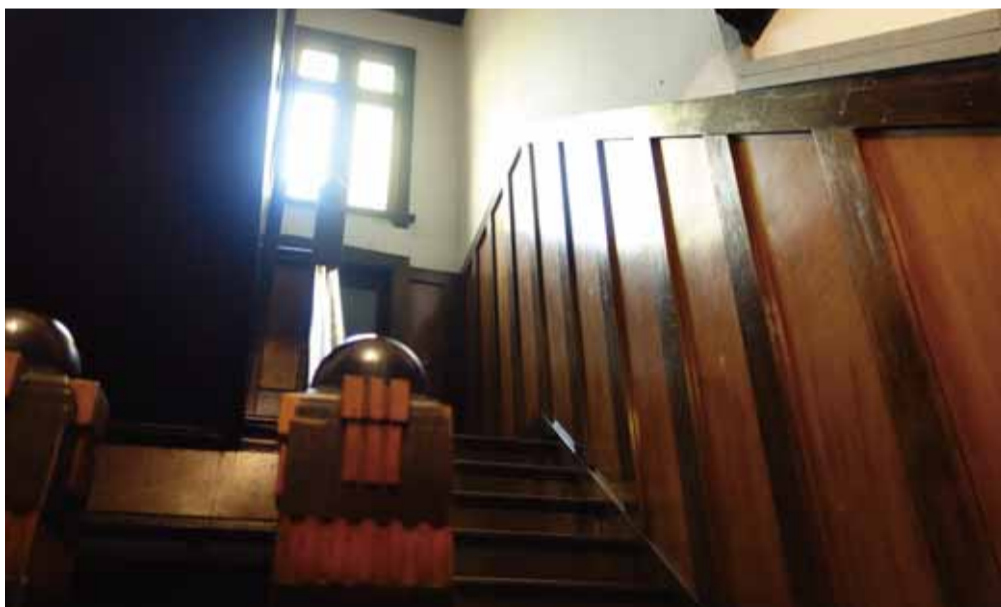
1700年代中国製の衝立と電話室



仏間へ通じる廊下は、廊下の形状、窓枠、棧、階段が全て斜め



スチームカバー



階段 頂部に半球を付けた親柱は、側面等に四角い凹凸がつけられ、幾何学的な装飾



階段 手摺側壁板には菱形象嵌が施され幾何学模様



応接室 井桁の格縁天井



応接室 台輪とシャンデリア



応接室 壁はミズナラ材の額縁飾り